

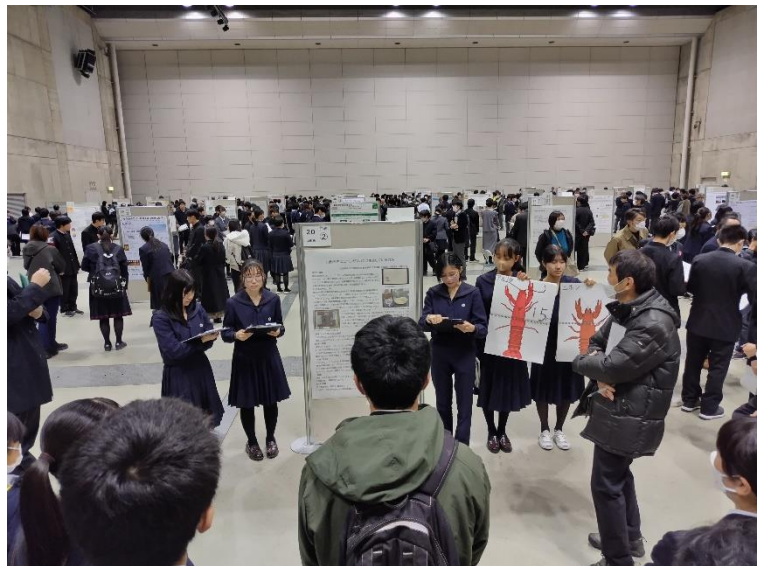
## 令和5年度 山形県探究型学習課題研究発表会

12月16日（土）山形国際交流プラザ山形ビッグウイングで「探究型学習課題研究発表会」があり、嚶鳴クリエイティブ・ラボの活動から5つのポスター発表を行いました。研究テーマと研究要旨は以下の通りです。今年度は、多くのグループが長期休業を利用して外部機関に出向き調査活動を行いました。担当者へのインタビューを通し現状の理解を深め考察に活かしたり、新たな課題を発見しその改題策を検討したりと大きな学びにつながりました。発表会当日は、堂々と大きな声でしっかり研究成果を発信することができました。自分たちでは気付かない視点から質問やアドバイスを多くいただき、新たな気付きを得ることもでき、今回いただいたアドバイスを十分活かしながら、1/25（木）の「成果発表会」に向けて研究活動を深めていきたいと考えています。

研究テーマ	研究要旨
山形県内にニホンザリガニは生息しているのか	過去の文献や採取された標本があることから、昔は山形県にもニホンザリガニが生息していたのではないかと考えられる。しかし、山形県の2018年のレッドデータブックでは絶滅となっており、生息は確認されていない。本研究では、過去に生息が確認されている場所で環境DNAを用いた生息調査を行った。
日本の宗教と現代社会の関わり	現代社会に宗教は深く根付いている。それは現代にも通じる考えを宗教が持っているためだと考えた私達は、高校生に身近である友人関係の問題を、宗教（仏教）の教えから解決しようと試みた。天台宗の寺院への外部調査とインターネットでの調べ学習を通して、仏教の思想の多様性を知り、そんな仏教の姿は、現代社会が目指す姿を体現しているのではないかと考えた。
西高 UDL 革命 ～障害のある人となない人で分け隔てない教育現場とは～	2022年、日本は国連から障害者権利条約をめぐる勧告を受けた。これにより、日本政府はインクルーシブ教育の実現を求められた。また、国内の障がい者人口は年々増加傾向にある。これらに従い、高校での障がい者の受け入れを促進させるべきだと考えた。そこで私達は西高のUDLを向上させる方法を提案する。これが今後の教育現場のあり方について考えるきっかけとなって欲しい。
音楽系の部活動の在り方	私達は2人とも中学時代に吹奏楽部に所属していた。その中で仲間が退部に追い込まれたり、部活動が原因で不登校になってしまったのを見てきて、より良い部活動のあり方があるのではないかと考えた。また、音楽系の部だけではなく他の部にも目を向け、部活動ごとのトラブルや内情の違いも意識して探究した。この発表が部活動の現状を知っていただくきっかけになれば幸いです。
自分たちが山形県民の防災意識を高めるためにできることは何か。	近年自然災害が多発している中で山形県は災害が少なく、防災意識が低いのではないかと仮説を立てた。それを改善するために「防災意識を高めるため」の活動に取り組みたいと思いこの活動を始めた。アンケートを作成し、西高2年生や嚶鳴祭に来てくださった方に答えてもらったり、防災レシピコンテストなどに参加して防災を身近に感じて貰えるような取り組みを続けている。



○山形県内にニホンザリガニは生息しているのか



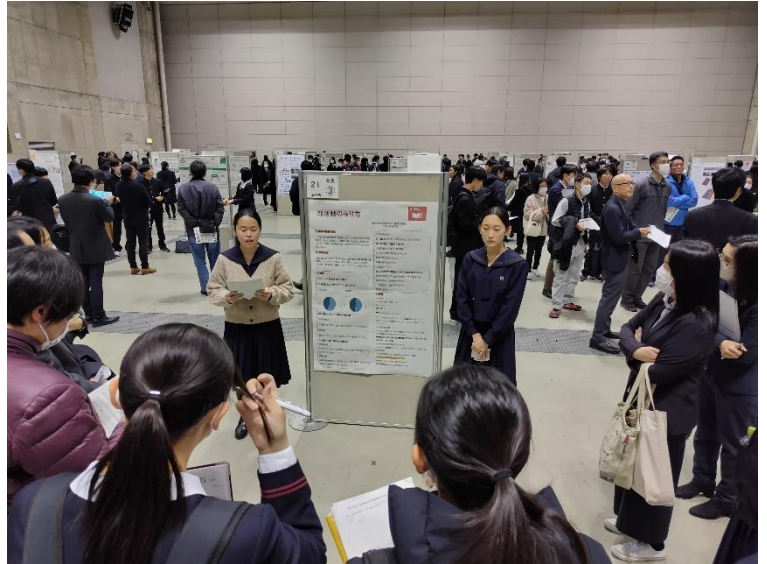
○日本の宗教と現代社会の関わり



○西高 UDL 革命～障害のある人とない人で分け隔てない教育現場とは～



○音楽系の部活動の在り方



○自分たちが山形県民の防災意識を高めるためにできることは何か

